



Koryo 陵 雲 High School

〒031-0011 青森県八戸市田向三丁目2番6号/電話 0178-44-8866/FAX 0178-48-9077

https://koryo-high-school.com/ Eメール koryo@chibagakuen.ac.jp

文化祭



秋晴れとなった9月28日(土)、29日(日)の2日間、文化祭が行われた。初日は、文化祭初となる4台のキッチンカー(Pizza 27様・たこ焼きやきやき裕次郎様・Haru Haru crepe様、ココロトカフェ手作りアイスクリーム様)にご協力いただき、生徒発表、食、展示と、生徒も保護者もお客様も大盛況の一日となった。2日目は、前日に続き太鼓部、軽音楽部が会場を大いに盛り上げてくれた。美術部、華道部、写真部も日頃の成果を発表した。また、どの企画も3年生が引っ張り、最上級生らしいパフォーマンスを見せつける姿は頼もしかった。食堂を運営して下さったPTT AOB会の皆様、PTT A喫茶を切り盛りして下さった保護者の皆様をはじめとして、たくさんの方々



に支えられ、令和6年度文化祭は無事終了した。

【各企画結果】

《ザ・ワールドクイズ》

優勝 3年2組
準優勝 1年2組
2年1組

《天下一舞踏会》

優勝 クラス対抗ステージ発表 2年1組
準優勝 3年1組

《歌唱コンテスト》

優勝 1年2組
準優勝 3年2組
審査員賞 3年1組

《男女装コンテスト》

優勝 3年1組
準優勝 2年2組

《クラス展示》

○今年度テーマ「世界」
最優秀賞 2年2組
「ジブリの世界」
優秀賞 3年2組
審査員賞 3年2組
「お菓子の世界」

《総合》

優勝 3年2組

火災想定避難訓練

9月19日(木)、火災を想定した避難訓練を実施した。調理室から火が上がったという想定で、非常階段からの避難を行った。また、水消火器による消火訓練、救助袋を使った3階からの降下訓練もあわせて行った。真っ直ぐに降りた袋の中を螺旋状に滑る「垂直式」降下訓練は、防災委員8名が実施。コロナ禍にあつて数年間実施できていなかっただけに、恐怖心を持つ生徒の中にはいた。しかし、いつ何が起きるか分からない災害時は、その場の状況に応じて臨機応変に対応していく判断力も必要となる。生徒たちは、訓練に真剣に取り組む防災への意識を高めた。



ふれあい秋まつり

9月21日(土)、「青仁会ふれあい秋まつり」に太鼓部5名が参加し演奏を行った。また、大坊寧さん(3年・白銀南中学校出身)、角地山葵羅さん(3年・階上中学校出身)、三浦大和さん



(3年・豊崎中学校出身)の3名がまつりのボランティアスタッフとして参加した。

サッカー試合結果

《高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ 県1部2回戦総当たりラウンド》
○9月21日(土) 向陵 2-1 八西

《得点》佐々木 聖空(3年・千葉市平城台西中学校出身) 岡本 宏哉(3年・洋野町立種市中学校出身)
当日は気温20度を下回り、雨の中の試合となった。試合は3年生が得点を決め、寒い中、応援で選手たちを見守って下さった方々に勝利で答えた。1部リーグの試合も残り1試合、光星戦を残すのみ。最終戦は10月5日(土)、八戸学院グラウンドで11時キックオフ。



修光園コース

1年 三浦 咲月(明治中学校出身)



最初、生活相談員の方が丁寧に施設の説明をして下さり、とても分かりやすかったです。

説明を受けているときに、利用者の方に会いました。私たちに声を掛けてくれた利用者の方々も嬉しかったです。その後、高齢者体験をしました。白内障のゴーグルを付け、ヘッドホンを装着して車椅子にりましたが、不自由さを感じました。利用者の方々も苦労していると思いました。しかし、もっと大変なのは介護士の方だと思います。介護をするには体力が必要で、何をすることも体力を消耗します。利用者に合わせた声の大きさ、声掛けなど、気遣いがすごいと思いました。午後は、施設の窓掃除をしました。拭くのはすぐに終わったので、溝の部分や細かいほこり汚れもきれいにしました。自分たちで何かやれることはないか考えながら積極的に作業することができました。

1年 村田 翼(湊中学校出身)

今回の講座では、しっかり奉仕の心を持って活動できたと思います。職員が仮眠をとる休憩所、利用者が集まる場所、普通のマスクよりも高性能のマスクが保管されているところを見学してもらいました。見学後、車椅子体験をしました。私が普段見ている車椅子とは違い、背もたれを後ろに倒せるようになっているものもありました。また、前輪を上げるための棒がついていることを知りました。普段見ているような車椅子は、前輪を上げるのは簡単でしたが、違う種類の車椅子は難しかったです。その後、軽音楽部で歌を披露しました。2曲終わるとランコールをいただき、急遽もう一曲演奏することになりました。ミスはありましたがいい経験になりました。その他、窓拭きやじゃが芋掘りもありました。普段、高齢者の方々と接する機会がないので、貴重な時間を過ごすことができました。



寿楽荘コース

1年 中居 怜音(江陽中学校出身)

寿楽荘に行き、利用者の話を聞いたりしました。初めに利用者の方々を知るために、自分たちの自己紹介をしながらインタビューをしてみました。交流後、皆さんに「ありがとうございます」と言われて嬉しかったです。



1年 久保杉 咲太(豊崎中学校出身)

利用者の方々と交流をしましたが、声を聞きとるのに苦戦しました。自分たちもマスクをしていたので、もっと大きな声でゆっくり話すことができた。聞きとりやすかったのではないかと反省しています。また、せつかくの交流の機会だったのだから進んで話しかければよかったと思います。

準備をしました。午後にはレクリエーションの準備をしました。効率よく作業ができず時間がかかってしまいました。相手に合わせた話し方の工夫、声の出し方を意識して生活していきたいと思いました。

2年 籠田 博彬(第一中学校出身)

今回感じたことは、介護は大変だということです。講座中、様々な方々に会いましたが、コミュニケーションが取りづらく、言葉も聞きとりにくいときもありました。しかし、皆さんが楽しそうに職員の方と話している様子や一緒にレクリエーションをしたときの表情を見ていたら、こちらも楽しくなりました。私は太鼓の演奏をしましたが、太鼓のリズムに手を動かす方や拍手をして下さっているのを見て、良い講座になったと思います。



青南病院コース

2年 前田 虎次朗(湊中学校出身)

今回は、軽音楽部のギター担当として青南病院を訪れ利用者の方々の前で2曲を演奏しました。利用者の方々の各部屋を訪問し演奏して回りました。合計8回の演奏を行うという貴重な経験をする事ができて心から感謝しています。病院で初めての演奏だったので、最初は少し緊張しましたが、見て下さる皆さんの笑顔を見た瞬間、リラックスできて演奏に集中することができました。音楽には人々の心を癒す力があると改めて実感しました。演奏した2曲とも勇気を与えたり、希望を感じられる曲です。誰かの心に響いてくれることを祈りながら演奏しました。音楽を通じて誰かの心に寄り添うことができるということ、私にとっても大切な経験となりました。



2年 栗村 漣(東中学校出身)

青南病院に行き3つのグループに分かれて活動しました。私は大きいホール担当になりました。元教師だという女性と話をしたりしながら過ごしました。その後は、ジュースを配ったりする手伝いをしたり、ボール遊びをして交流しました。自分が思っていた以上に力強く元気な皆さんと楽しく遊ぶことができました。午後は、演奏発表でしたが、進行をやることになり、焦ってしまいました。歌詞がとんだりが外れたりバタバタしましたが、楽しみなが活動ができました。



芽生保育園コース

3年 吉岡 遥帆(十和田市立十和田中学校出身)



今回の体験を通して、小さい子供と遊ぶことは体力がいることだと分かりました。保育園に着いて、ラジオ体操と簡単なダンスで園児と一緒に体を動かしました。次に避難訓練、散歩と交流が続きました。散歩は、3歳の子2人と手をつなぎ公園まで歩きました。子供は、手がすぐ小さく、体温が高くて驚きました。歩幅も自分より小さく、それぞれに歩くスピードも異なり、歩くのが大変でした。その後、遊具で遊びました。ロープの遊具と山の遊具が一番人気がありました。ロープの遊具に上って遊んでいる子が、落ちて怪我をしないように気を付けたり、階段では転ばないようにゆっくり降りることを心がけました。園児がお昼寝をする午後は、年長さんの作品展示の周りを飾る感星の絵を製作しました。一日だけでしたが、保育士の仕事は、気を付けることが多く、体力も使う仕事だと分かりました。



種差海岸コース

3年 船田 悠成(第一中学校出身)

去年も海岸のゴミ拾いをしました。去年はゴミが少なかったのですが、今年も少ないと感じました。ゴミは、タバコやお菓子などの小さいゴミから、車のタイヤなどの大きなゴミが目立っていました。これが流れついできたのも駄目ですが、直接海に持ってきて捨てたのならもっと駄目だと思いました。自分たちが住む地域を自らきれいにしていくという意識と行動が必要だと思いました。種差の芝は、昔は馬が食べ適度な長さを保っていたらしいですが、今はあの広さを人が全部刈り取っていると聞き驚きました。種差から福島県の相馬まで潮風トレイルというものがあり、階上までは3時間と聞き驚きました。友人とゴミ拾いをしながら、きれいな景色をゆっくり歩いてみたいと思います。

